

マウス胚/精子の凍結保存依頼

目次

	ページ
寄託に必要な書類	
別紙様式1～2、別紙-----	1
プライマーとそのPCR条件について-----	4
寄託マウスに関する情報-----	6

別添資料

熊本 大学遺伝子改変マウス作製等受託規則-----	23
---------------------------	----

注記

マウス胚/精子の凍結保存依頼書（別紙様式1）および承諾書（別紙様式2）は、法人（国立大学法人を含む。）にあつては、所属の代表者の氏名でお願いします。

(別紙様式1)

平成 年 月 日

マウス胚/精子の凍結保存依頼書

熊本大学生命資源研究・支援センター長 殿

住所

名称

氏名

(法人にあつては代表者)

印

熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究部門(CARD)マウス胚/精子バンクに、マウス胚/精子の凍結保存を下記のとおり依頼いたします。

記

マウス系統名 ^{*1}	()
遺伝的背景	()
送付マウス	<input type="checkbox"/> 遺伝子組み換え生物等の第二種使用等をしている <input type="checkbox"/> 遺伝子改変マウス(突然変異マウスを含む) <input type="checkbox"/> 組換え DNA 実験安全委員会の承認を受けて作製したマウスである <input type="checkbox"/> 大臣承認を受けて作製したマウスである(大臣承認) <input type="checkbox"/> 組換え DNA 実験安全委員会のみ承認を受けて作製したマウスである(機関承認) <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A ^{*2} <input type="checkbox"/> P3A ^{*2} <input type="checkbox"/> 雄(ホモ 匹、ヘテロ 匹)(生年月日.) <input type="checkbox"/> 雌(ホモ 匹、ヘテロ 匹)(生年月日.) 遺伝子改変マウス雄のみを送付される場合は、受精卵作製に使用する雌の系統をご記入下さい。 例) 系統名(C57BL/6J) 系統名() 業者名()
	<input type="checkbox"/> その他のマウス <input type="checkbox"/> 雄(匹)(生年月日.) <input type="checkbox"/> 雌(匹)(生年月日.)
CARD が第三者へ供給する際の条件	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 供給依頼があった場合、当方への連絡が必要。 <input type="checkbox"/> 次の場合は、連絡不要。 <input type="checkbox"/> その他 _____ _____ <input type="checkbox"/> なし
IMSR へのマウスデータの転送	<input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない

*1 遺伝子、対立遺伝子、突然変異の命名法に関する規則とガイドライン、各種遺伝子の表示方法および種々の遺伝子を持つ系統の表示方法に従ってご記入下さい。

*2 P2A 及び P3A の場合は、このマウスを作製したときに組換え DNA 実験安全委員会へ提出した実験計画書の写しを別途ご提出下さい。

(別紙様式2)

平成 年 月 日

承 諾 書

熊本大学生命資源研究・支援センター長 殿

住 所

名 称

氏 名

(法人にあっては代表者)

印

熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究部門マウス胚/精子バンクに下記マウス胚/精子の凍結保存を依頼いたしますが、凍結保存されたマウスのデータはCARD R-BASE上で公開し、CARDが外部からの依頼により当該凍結胚/精子又は凍結胚/精子から作製したマウス個体を無条件あるいは、条件付きで第三者へ供給することを承諾します。

なお、マウス胚/精子の凍結保存依頼書及び寄託マウスに関する情報に虚偽が無いことを誓約します。

記

マウス系統名 _____

連絡先

氏名：

住所：〒

TEL：

FAX：

Email：

遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表

核酸供与体	供与核酸	ベクター	宿主等	保有動植物等	拡散防止措置の区分	備考

＜記入上の留意事項＞

- 1 本表には、当該第二種使用等に係るすべての遺伝子組換え生物等及び当該第二種使用等をする間に執る拡散防止措置の区分について記載する。また、核酸供与体、供与核酸、ベクター、宿主等、保有動植物等及び拡散防止措置の区分の個々の組合せ並びに実験の一連の流れがわかるように記載する。
- 2 「核酸供与体」の欄には、核酸供与体となる生物の種名、系統名等を記載する。
- 3 「供与核酸」の欄には、ゲノムDNA、相補DNA、合成DNA等の供与核酸の種類や名称等を記載する。
- 4 「ベクター」の欄には、ベクターの名称を記載すること。なお、ウイルスは、ベクターとして用いる場合であっても、宿主として扱われるので、宿主等の欄に記載する。
- 5 「宿主等」、「保有動植物等」の欄には、それぞれ、宿主、遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物及び細胞等の種名、系統名等を記載する。
- 6 「拡散防止措置の種類」の欄には、別表第二、別表第三、別表第四又は別表第五の上欄に掲げる拡散防止措置の区分を参考に、実験を実施する間に執る拡散防止措置の区分を記載する。
- 7 「備考」の欄には、以下の事項を記載する。
 - (1) 遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の組合せのうち大臣確認実験に該当する場合には、その旨
 - (2) 認定宿主-ベクター系を用いる場合には、その区分
 - (3) 各段階における主な目的等

プライマーとその PCR 条件について

寄託系統名 : _____

1. プライマー

濃度 : 100pmol/ μ l (100 μ M)

量 : 0.1ml

Primer1 :	名前	
	配列	
Primer2 :	名前	
	配列	

プライマーの配列は、Acrobat Reader 又は Acrobat でパソコン上から書き込み可能です。

2. ポジティブコントロール

バンドサイズ : _____ bp

濃度 : _____

量 : _____

種類 : genomic DNA or プラスミド (いずれかに印をつけて下さい)

3. PCR に関する情報

当施設では Ampli Taq を用いた PCR のみ行います。

1. PCR 反応液

	× 1 sample
H ₂ O	_____ μ l
10×PCR Buffer(1.5mM MgCl ₂ を含む)	_____ μ l
dNTP(2.5mM)	_____ μ l
Primer1	_____ μ l
Primer2	_____ μ l
Ampli Taq(5U/ μ l)	_____ μ l
DNA(濃度 _____)	_____ μ l
	total _____ μ l

2. PCR 温度サイクル

Gene Amp PCR System 9700 (Applied Biosystems)

_____	min.	_____	cycle
_____	sec.	} _____	cycle
_____	sec.		
_____	sec.		
_____	min.	_____	cycle

3. 泳動写真

以下の余白に泳動写真又は
コピーを添付して下さい。

送付マウスの泳動写真を添付して下さい。
雌雄両方のマウスをお送りいただく場合は、雄のみの泳動写真で結構です。

泳動条件

アガロースゲル濃度	_____	%
マーカー名	_____	

寄託マウスに関する情報

記入年月日：20 年 月 日

1. 近交系 (inbred) マウス用

お名前	和名
	英名
ご所属	和名
	英名

この用紙は、通常の近交系ならびに変異を持ってはいるけれども原因遺伝子が明らかになっていないNODのような疾患マウス系統の場合にお使いください。(リコンビナント, リコンビナントコンジェニック系統なども含まれます) にはxあるいはレ点を, 括弧内および四角の枠内には適切な語句または文をご記入下さい。情報が無い場合は「不明」とお書きください。

アンケート事項

回答欄

1. この寄託マウスに関する情報

A. 系統名 ()
ニックネームあるいは通称名 ()

B. 毛色
白色 (アルビノ: 毛色が白で, 目が赤)
黒色
茶色 (チョコレート色)
野生色
その他 ()

C. マウスの由来
自家育成
(下記のDならびに第2項にご回答ください)
他機関などから譲渡または購入
(下記のEならびに第2項にご回答ください)

D. 自家育成
a. 現在の世代数 F() , F?+()
b. 育成者について (所有権を持つ代表者)
(1) 氏名 和名 ()
英名 ()
(2) 研究機関名 和名 ()
英名 ()
(3) 施設の登録記号 ()

E. 他機関などからの譲渡または購入
a. 導入年 西暦 (年 月)
b. 導入時の世代数 F() , F?+()
c. 現在の世代数 F() , F?+()

d. 機関あるいは施設

(海外の場合は英名だけご記入下さい)

(1) 名称

和名 ()

英名 ()

(2) 研究者名

和名 ()

英名 ()

(3) 施設の登録記号

()

F. 遺伝的モニタリング (遺伝検査)

検査を受けたことがない

検査を受けたことがある

検査表がある

検査表がない

G. その他の遺伝情報

(自由にお書きください)

2. このマウスのモデル動物としての可能性と応用分野

複数回答可 解剖, 生理, 発生, 代謝, 免疫, がん,
神経, 皮膚, その他 (), 不明

記入欄

寄託マウスに関する情報

記入年月日：20 年 月 日

2. 自然・人為突然変異マウス用

お名前

和名

英名

ご所属

和名

英名

このアンケート用紙は、自然に起こった突然変異、放射線あるいは変異原物質などの投与によってもたらされた突然変異を持つマウスの場合にお使い下さい。標的破壊（ノックアウト）、遺伝子トラップや挿入突然変異については別紙アンケート用紙（4、5および6）でご回答下さい。

回答欄の には×あるいはレ点を付け、括弧内および四角の枠内には適切な語句あるいは文をご記入下さい。情報が無い場合は「不明」とお書きください。

アンケート事項

回答欄

1. 寄託マウスに関する一般情報

A. 系統名

()

ニックネームあるいは通称名

()

B. 毛色

白色（アルビノ：毛色が白で、目が赤）

黒色

茶色（チョコレート色）

野生色

その他 ()

C. 由来

自家作製

(Dならびに第2、3および4項にご回答ください)

他機関などから譲渡または購入

(Eならびに第2、3および4項にご回答ください)

D. 自家作製

a. この変異が生じた系統名

()

b. 現在の世代数

F(), N(), N()+F()

c. 発見者

(所有権を持つ代表者)

(1)氏名

和名 ()

英名 ()

(2)研究機関名

和名 ()

英名 ()

(3)施設の登録記号

()

E. 他機関などからの譲渡または購入

a. 導入年

西暦 (年 月)

b. 導入時の世代数

F(), N(), N()+F()

c. 現在の世代数

F(), N(), N()+F()

d. 機関あるいは施設について

(海外の場合は英名だけご記入下さい)

(1)名称

和名 ()

英名 ()

(2)研究者名 和名 ()
英名 ()
(3)施設の登録記号 ()

F. 遺伝的モニタリング (遺伝検査) 検査を受けていない
検査を受けたことがある
検査表がある
検査表がない

G. その他の遺伝情報 (自由にお書きください)

2. 変異遺伝子の情報

A. 変異した遺伝子

a. 遺伝子名 ()
b. 遺伝子記号 ()
c. 遺伝様式 優性 , 共優性 , 劣性 , その他 ()
d. 染色体番号 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19
X, Y, 未決定
e. 染色体上の位置 () cM , または , () バンド
f. dとeの決定方法 交配実験
FISH (fluorescence in situ hybridization)
その他 ()

B. 変異が生じた原因

自然 (無処置)
化学物質の投与
放射線照射
その他 ()

C. 変異遺伝子の確認方法

複数回答可
表現型 (症状など :)
サザン・ PCR・ FISH・ ウェスタン
その他 ()
*PCRの場合 , 「プライマーとそのPCR条件」 (P. 4 ~ P. 5) を作成し、
プライマー & ポジティブコントロールと同送して下さい。

3. この変異マウスの表現型

致死 (時期 :)
その他 (特徴を下記にお書き下さい)

記入欄

4. このマウスのモデル動物としての可能性と応用分野

(複数回答可) 解剖 , 生理 , 発生 , 代謝 , 免疫 , がん

神経， 皮膚， その他（ ）， 不明

記入欄

--

寄託マウスに関する情報

記入年月日：20 年 月 日

3. トランスジェニック (Tg) マウス用

お名前

和名

英名

ご所属

和名

英名

□にはチェックを付け、括弧内には適切な語句をご記入下さい。情報が無い場合は「不明」とお書きください。

アンケート事項

回答欄

1. 寄託マウスに関する一般情報

A. 系統名

()

ニックネームあるいは通称名

()

B. 毛色

白色 (アルビノ：毛色が白で、目が赤)

黒色

茶色 (チョコレート色)

野生色

その他 ()

C. このTgマウスの由来

自家作製

(下記のCならびに第2, 3および4項にご回答ください)

他機関などから譲渡または購入

(下記のDならびに第2, 3および4項にご回答ください)

D. 自家作製

a. 作出番号

()

b. 現在の世代数

F(), N(), N()+F()

c. 製作者について

(複数回答可)

(1)氏名

和名 ()

英名 ()

(2)研究機関名

和名 ()

英名 ()

(3)施設の登録記号

()

E. 他機関などからの譲渡または購入

a. 導入年

西暦 (年 月)

b. 導入時の世代数

F(), N(), N()+F()

c. 現在の世代数

F(), N(), N()+F()

d. 機関あるいは施設

(海外の場合は英名だけご記入下さい)

(1)名称

和名 ()

英名 ()

(2)研究者名

和名 ()

英名 ()

(3)施設の登録記号

()

- F. 遺伝的モニタリング（遺伝検査） 検査を受けていない
検査を受けたことがある
検査表がある
検査表がない

G. その他の遺伝情報

(自由にお書きください)

2. トランスジーン（導入遺伝子）の情報

- A. トランスジーンのconstruct ()
- a. 発現させたい遺伝子
- (1) 動物種 ヒト, マウス, ラット, その他 ()
- (2) 遺伝子 cDNA・genomic DNA・その他 ()
- (3) 遺伝子名（フルネーム） ()
- (4) 遺伝子記号 ()
- b. プロモーターなどの発現調節遺伝子
- (1)使用の有無 無・有（有の場合, (2)にご回答下さい）
- (2)プロモーターなどの名称 ()
その記号
- B. 遺伝子導入の方法
- a. 導入技術 マイクロインジェクション
レトロウイルス感染
その他 ()
- b. 胚あるいは細胞の系統名 ()
- C. トランスジーンの確認技術 表現型（症状など:)
サザン・PCR*・FISH・ウエスタン
その他 ()
- *PCRの場合, 「プライマーとそのPCR条件」(P.4~P.5)を作成し,
プライマー&ポジティブコントロールと同送して下さい。
- D. トランスジーンが組込まれた染色体とその位置
- a. 決定方法 交配実験
FISH (fluorescence in situ hybridization)
その他 ()
- b. 染色体番号 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19
X, Y
- c. 染色体上の位置 () cM, または, () バンド
- E. 導入された遺伝子の発現について

確認していない場合は「未確認」と、確認している場合はその内容をご記入下さい。

3. このマウスの表現型

- 致死（時期：
その他

記入欄（特徴をお書き下さい）

4. このマウスのモデル動物としての可能性と応用分野

- (複数回答可) 解剖, 生理, 発生, 代謝, 免疫, がん,
神経, 皮膚など（詳細は下の記入欄へ）, 不明

記入欄

寄託マウスに関する情報

記入年月日：20 年 月 日

4. 標的変異 (ノックアウト) マウス用

お名前	和名
	英名
ご所属	和名
	英名

ノックアウト、ノックインなど、相同組換え(Homologous recombination)技術を用いて作出された系統についてはこの用紙をお使い下さい。

にはチェックを付け、括弧内および四角の枠内には適切な語句あるいは文をご記入下さい。

情報が無い場合は「不明」とお書きください。

アンケート事項

回答欄

1. 寄託マウスに関する一般情報

- A. 系統名 ()
ニックネームあるいは通称名 ()
- B. 毛色
白色 (アルビノ：毛色が白で、目が赤)
黒色
茶色 (チョコレート色)
野生色
その他 ()
- C. このマウスの由来
自家作製
(下記のDならびに第2, 3および4項にご回答ください)
他機関などから譲渡または購入
(下記のEならびに第2, 3および4項にご回答ください)
- D. 自家作製
a. 作出番号 ()
b. 現在の世代数 F(), N(), N()+F()
c. 製作者について (複数回答可)
(1)氏名
和名 ()
英名 ()
(2)研究機関名
和名 ()
英名 ()
(3)施設の登録記号 ()
- E. 他機関などからの譲渡または購入
a. 導入年 西暦 (年 月)
b. 導入時の世代数 F(), N(), N()+F()
c. 現在の世代数 F(), N(), N()+F()

d. 機関あるいは施設について

(海外の場合は英名だけご記入下さい)

(1)名称

和名 ()

英名 ()

(2)研究者名

和名 ()

英名 ()

(3)施設の登録記号

()

F. 遺伝的モニタリング (遺伝検査)

検査を受けていない

検査を受けたことがある

検査表がある

検査表がない

G. その他の遺伝情報

(自由にお書きください)

2. 遺伝子導入の方法と標的遺伝子の情報

A. 遺伝子導入の方法

a. 導入技術

エレクトロポレーション

マイクロインジェクション

その他 ()

b. 細胞

ES細胞

ライン(株)名: ()

胚: ()細胞期

c. 細胞の由来 (=系統名)

129 C57BL/6 BDF1 その他 ()

B. 破壊された遺伝子

a. 遺伝子名

()

b. 遺伝子記号

()

c. 染色体番号

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19

X, Y, 未決定

d. 染色体上の位置

() cM, または, () バンド

C. 破壊された遺伝子の確認方法

表現型 (症状など:)

サザン・ PCR*・ FISH・ ウェスタン

その他 ()

*PCRの場合, 「プライマーとそのPCR条件」(P.4.~P.5)を作成し,
プライマー&ポジティブコントロールと同送して下さい。

3. このマウスの表現型

正常 (=コントロールと変わらない)

致死 (下の記入欄にお書き下さい)

変異を示す (下の記入欄にお書き下さい)

記入欄

4. このマウスのモデル動物としての可能性と応用分野

(複数回答可) 解剖, 生理, 発生, 代謝, 免疫, がん,
神経, 皮膚など(詳細は下の記入欄へ), 不明

記入欄

--

寄託マウスに関する情報

記入年月日：20 年 月 日

5. 遺伝子トラップ(Gene trap)マウス用

お名前	和名
	英名
ご所属	和名
	英名

にはチェックを付け、括弧内には適切な語句をご記入下さい。情報が無い場合は「不明」とお書きください。

アンケート事項

回答欄

1. 寄託マウスに関する一般情報

- A. 系統名 ()
 ニックネームあるいは通称名 ()
- B. 毛色
 白色 (アルビノ：毛色が白で、目が赤)
 黒色
 茶色 (チョコレート色)
 野生色
 その他 ()
- C. このマウスの由来
 自家作製
 (下記のDならびに第2, 3および4項にご回答ください)
 他機関などから譲渡または購入
 (下記のEならびに第2, 3および4項にご回答ください)
- D. 自家作製
 a. 作出番号 ()
 b. 現在の世代数 F() , N() , N()+F()
 c. 製作者について (複数回答可)
 (1)氏名 和名 ()
 英名 ()
 (2)研究機関名 和名 ()
 英名 ()
 (3)施設の登録記号 ()
- E. 他機関などからの譲渡または購入
 a. 導入年 西暦 (年 月)
 b. 導入時の世代数 F() , N() , N()+F()
 c. 現在の世代数 F() , N() , N()+F()
 d. 機関あるいは施設 (海外の場合は英名だけご記入下さい)
 (1)名称 和名 ()
 英名 ()
 (2)研究者名 和名 ()
 英名 ()

- (3)施設の登録記号 ()
- F. 遺伝的モニタリング (遺伝検査)
- 検査を受けていない
 - 検査を受けたことがある
 - 検査表がある
 - 検査表がない
- G. その他の遺伝情報 (自由にお書きください)

2. トラップベクター (導入遺伝子) の情報

- A. トラップベクターのconstruct ()
- 5'から1番目 (full name:)
 - 5'から2番目 (full name:)
 - 5'から3番目 (full name:)
 - 5'から4番目 (full name:)
 - 5'から5番目 (full name:)
 - 5'から6番目 (full name:)
- B. トラップベクターの導入方法
- a. 導入技術
 - エレクトロポレーション
 - マイクロインジェクション
 - その他 ()
 - b. 細胞
 - ES細胞
 - ライン (株) 名 : ()
 - 胚 : () 細胞期
 - c. 細胞の由来 (= 系統名)
 - 129 , C57BL/6 , BDF1 , その他 ()
- C. トラップベクターの検出方法
- a. 検出技術
 - サザン・ PCR・ FISH・ ウェスタン
 - その他 ()

*PCRの場合, 「プライマーとそのPCR条件」(P. 4 ~ P. 5)を作成し、
プライマー&ポジティブコントロールと同送して下さい。

3. このマウスの表現型および挿入により破壊された遺伝子の情報

- A. 表現型
- 正常 (= コントロールと変わらない)
 - 致死 (下の記入欄にお書き下さい)
 - 変異を示す (下の記入欄にお書き下さい)

記入欄

B. トラップ（破壊）された遺伝子

既存の遺伝子

遺伝子記号：（

遺伝子名：（

新規の遺伝子

下記のCにお答え下さい

C. 新規遺伝子が存在する染色体と位置

a. 決定方法

交配実験

FISH (fluorescence in situ hybridization)

その他（

b. 染色体番号

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19

X, Y

c. 染色体上の位置

() cM, または, () バンド

4. このマウスのモデル動物としての可能性と応用分野

(複数回答可) 解剖, 生理, 発生, 代謝, 免疫, がん,
神経, 皮膚など(詳細は下の記入欄へ), 不明

記入欄

--

寄託マウスに関する情報

記入年月日：20 年 月 日

6. 挿入突然変異(insertion mutation)マウス用

お名前	和名
	英名
ご所属	和名
	英名

このアンケートは、トランスジェニックマウス作出時に出現した挿入突然変異について回答していただくための用紙です。遺伝子トラップについては「5. 遺伝子トラップ用」の用紙をお使い下さい。
にはチェックを付け、括弧内および四角の枠内には適切な語句あるいは文をご記入下さい。
情報がない場合は「不明」とお書きください。

アンケート事項

回答欄

1. このマウスに関する情報

- A. 系統名 ()
ニックネームあるいは通称名 ()
- B. 毛色
白色 (アルビノ：毛色が白で、目が赤)
黒色
茶色 (チョコレート色)
野生色
その他 ()
- C. このマウスの由来
自家作製
(下記のDならびに第2, 3および4項にご回答ください)
他機関などから譲渡または購入
(下記のEならびに第2, 3および4項にご回答ください)
- D. 自家作製
a. 作出番号 ()
b. 現在の世代数 F(), N(), N()+F()
c. 製作者について (複数回答可)
(1)氏名 和名 ()
英名 ()
(2)研究機関名 和名 ()
英名 ()
(3)施設の登録記号 ()
- E. 他機関などからの譲渡または購入
a. 導入年 西暦 (年 月)
b. 導入時の世代数 F(), N(), N()+F()
c. 現在の世代数 F(), N(), N()+F()

- d. 機関あるいは施設について (海外の場合は英名だけご記入下さい)
- (1) 名称 和名 ()
英名 ()
- (2) 研究者名 和名 ()
英名 ()
- (3) 施設の登録記号 ()
- F. 遺伝的モニタリング (遺伝検査) 検査を受けていない
検査を受けたことがある
検査表がある
検査表がない
- G. その他の遺伝情報 (自由にお書きください)

2. 遺伝子導入の方法と変異した遺伝子の情報

- A. 遺伝子導入の方法
- a. 導入技術 マイクロインジェクション
エレクトロポレーション
その他 ()
- b. 遺伝子導入に使用した細胞 胚 (受精卵の雄性前核)
ES細胞
ライン (株) 名: ()
129 C57BL/6 BDF1 その他 ()
- c. 細胞の由来 (= 系統名)
- B. 変異した遺伝子
- a. 遺伝子名 ()
- b. 遺伝子記号 ()
- c. 染色体番号 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19
X, Y
- d. 染色体上の位置 () cM, または, () バンド
- C. 変異遺伝子の確認方法 表現型 (症状など:)
サザン・ PCR*・ FISH・ ウェスタン
その他 ()

*PCRの場合, 「プライマーとそのPCR条件」(P.4~P.5)を作成し、
プライマー&ポジティブコントロールと同送して下さい。

3. このマウスの表現型

- 正常 (=コントロールと変わらない)
致死 (下の記入欄にお書き下さい)
変異を示す (下の記入欄にお書き下さい)

記入欄

4. このマウスのモデル動物としての可能性と応用分野

(複数回答可) 解剖, 生理, 発生, 代謝, 免疫, がん,
神経, 皮膚など(詳細は下の記入欄へ), 不明

記入欄

熊本大学生命資源研究・支援センター遺伝子改変マウス作製等受託規則

(趣旨)

第1条 この規則は、熊本大学生命資源研究・支援センター（以下「センター」という。）における遺伝子改変マウスの作製及び供給並びに保存凍結胚（保存凍結胚に由来するマウス個体を含む。）の供給（以下「作製等」という。）に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 遺伝子改変マウス 遺伝子導入マウス及びキメラマウスをいう。
- (2) 受託作製等 センターが学外からの委託を受けて別表に掲げる作製等を行うことをいう。

(受託作製等の申請)

第3条 作製等を委託しようとする者（以下「委託者」という。）は、所定の申請書をセンター長に提出して、その承諾を受けなければならない。

- 2 センター長は、センターにおける教育研究に支障のない場合に限り受託することができる。

(遵守事項)

第4条 委託者は、センター長が別に定める事項を遵守しなければならない。

(料金の納入)

第5条 第3条第1項の承諾を受けた委託者は、指定された期日までに、別表に掲げる料金を納付しなければならない。

- 2 受託作製等は、原則として料金の収納後でなければ実施することができない。
- 3 既納の料金は、返還しない。

(その他)

第6条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

別表（第2条、第5条関係）

区分	単位	料金		
		委託者が、国、国立大学法人又は大学共同利用機関法人の場合	委託者が左欄以外の場合	
遺伝子導入マウスの作製及び供給	1件	537,529円	698,787円	
キメラマウスの作製及び供給	委託者から交雑系ES細胞の送付を受けて作製し、供給する場合	1件	564,422円	733,748円
	委託者から近交系ES細胞の送付を受けて作製し、供給する場合	1件	811,615円	1,055,099円
保存凍結胚からの供給	センターが保存している凍結胚を融解し、マウス個体として供給する場合	1件	141,750円	184,275円
	センターが保存している凍結胚を供給する場合	1件	109,200円	141,960円

(消費税込)